


【児童・生徒の実態】 ・何事にも真面目に一生懸命取り組むことができる。 ・本山町が好き。 ・自己肯定感、表現力、知的好奇心に課題がある。	令和5年度 本山町 小中学校 9年間の生活科・総合的な学習の時間全体計画		【保護者・地域の願い】 ・豊かな心の育成 ・学力・学習意欲の向上 ・郷土愛の醸成
	 本山町の教育 人づくりは地域づくり 地域づくりは人づくり 「郷土に誇りを持ち、心豊かでたくましい人づくり」 ～0歳から18歳までは地元で そして ふるさとへ～	小・中学校 夢を持ち、輝き続けるために必要となる力を育成します 学力+自自力+表現力	
【地域の実態】 ・歴史・文化・自然にあふれている。 ・山間部に位置し、少子高齢化・過疎化が深刻な問題である。 ・様々な活動において学校に協力的である。	本山町内小・中学校 学校教育目標 【嶺北中学校】MIRAI☆開拓者の育成 【本山小学校】Catch your dream ! ふるさとに学び、考える力 感じる心 しょうぶな体の育成 【吉野小学校】自分で考え、意欲的に取り組み、気づき伝え合う子どもの育成～かしこく やさしく たくましく～		【外部人材の活用】 ・本山町人財BANK ・もとやま学校桜援隊 ・本山の人・こと・もの ・嶺北高校との連携 ・プロフェッショナルの活用

9年間で目指す子どもの姿 9年間で育てたい嶺北ACT	自分の未来・本山町の未来・日本の未来を切り拓く力をもつ子ども Action（行動する力） Collaboration（協働する力） Thinking（考える力）
-------------------------------	---

生活科の時間の目標 具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立して生活を豊かにしていくための資質・能力を育成する。	本山町における総合的な学習の時間の目標～本山町のひと、もの、こと、とたっぴり関わることを通して～ ☆探究的な学習の過程をスパイラルに設定することで、生徒の「自自力」や「探究力」の育成を目指す。 (1) 探究課題の解決に必要な知識及び技能を身に付ける。 (2) 「自分ごと」として課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現できるようにする。 (3) 地域についての探究的な学習に主体的、協働的に取り組み、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。
---	---

～本山町のひと、もの、こと、とたっぴり関わることを通して～

ステージ	I期 感じる！ 導入期	II期 気づく！ 発展期	III期 つなげる！ 展開期	IV期 ふみだす！ 充実期	
学年	小1・2年生	小3・4年生	小5・6・中1年生	中2・3年生	
	生活科	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	
テーマ	とびだそう もとやまっこ ～だいすき もとやま～	本山たんけん隊 ～地域の宝と未来～	本山町理解 ～地場産業や防災の視点から～	本山町地域貢献 ～魅力発信から地域貢献へ～	
探究課題		本山町の自然や伝統、文化の魅力とそれを受け継ごうとする人々の思いや願い	本山町の資源とそれを生かした地域活性化に取り組む人々との出会い	本山町の産業の継承と発展のために、課題に向き合い、本山町の特徴を生かして町づくりに取り組む組織や人々の工夫	
具体的な資質・能力を育成した子どもの姿	知識及び技能	知識の概念化	<ul style="list-style-type: none"> ・本山町にはたくさんの宝（自然や景観）があり、それを未来へ受け継ごうとする人々の願いや努力を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本山町の産業や人口構造の変化、自分の考えのギャップ等に着目し、地域のニーズを理解し自分達にできることを考えている。 ・本山町の産業がそれを支える人々の努力で成り立っていることを知るとともに、本山町の産業や文化・歴史と自分との関わりについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本山町の現状を理解し、自分たちができる本山町への地域貢献について考えている。 ・本山町と浦臼町とのつながりについて理解し、自分とのかかわりを「自分ごと」として捉え、地域の将来について考えている。
		技能の身体化	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや願いをもち、見通しをもって活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集の手順や目的や相手に応じたふさわしい関わり方などについて、身に付け、探究的な学習の過程で活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集の仕方や、目的や相手に応じたふさわしい関わり方などについて、それらの手順を様々な場面や状況に応じて活用している。
		探究的な学習のよさの理解	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気づき、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を比較、分類して考えるなど、探究スキルを身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を比較、分類、関連付けて考えるなど、探究スキルを身に付けている。 ・情報を構造化・抽象化することで探究の過程に応じた探究スキルを身に付けている。
		思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な活動や体験を通して、自分自身や自分の生活について考えている。 ・相手意識や目的意識をもって、表現内容や表現方法を考えている。 ・気づいたことや考えたこと、楽しかったことなどを言葉、絵、劇化、など多様な方法で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の関心から地域についての課題を見いだしている。 ・解決方法を順序立てて考え、追究している。 ・目的に応じた対象を決め、自分たちの身近なところから情報を集めている。 ・目的に応じて必要な情報を選んでいく。 ・問題状況における事実や関係を、事象を比較したり分類したり、数量などで客観的に比較したりして、特徴を見つけている。 ・相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。 ・国語科や外国語科等で身に付けた技能を活用して表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちを取り巻く社会に広く目を向け、活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見いだしている。 ・解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てている。 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集し、適切な方法で情報を蓄積している。 ・他者の意見や課題解決の方向性から、必要な情報を取捨選択している。 ・問題状況における事実や関係を把握し、適切な思考ツール等を用いて分類・整理し、多様な情報にある特徴を見つけている。 ・事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析している。 ・調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現している。 ・国語科や外国語科等で身に付けた技能を活用して表現している。
学びに向かう力・人間性等	主体性協働性	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲や自信をもって学んだり、友達と力を合わせたりして、生活を豊かにしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向け、探究活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・目的意識を持ち、身近な人と力を合わせ探究活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意志、判断により自ら責任をもって探究活動に取り組もうとしている。 ・目標を共有し、ともに力を合わせて探究活動に取り組もうとしている。 	
	自己理解他者理解	<ul style="list-style-type: none"> ・満足感や達成感を味わいながら、自分や友達のよさ、成長に気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のよさや自分にできることに気付くとともに、自分と異なる意見や考えがあることに気づき、相手の立場を理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の特徴やよさを理解するとともに、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとしている。 	
	将来展望社会参画	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを自分の生活に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と地域とのつながりに気づき、地域の活動に参加しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な視点で物事を捉え、本山町の未来や自分の将来について見つめ直している。 ・本山町の未来について考え、既存の発想にとらわれず、課題に対して新しく有意義な考えで課題解決に取り組もうとしている。 	

【学習活動】 ・本山町の実態、子どもの実態を踏まえ適切な探究課題を設定する。 ・本山町のひと、もの、ことを生かす。 ・学習成果を発表する場を設定し、出口をイメージしながら探究的な学習を行う。 ・年間1テーマでの取組を基本とする。 ・他教科や行事等とのカリキュラムマネジメントを充実させる。	【指導方法】 ・課題意識を連続、発展させる支援と工夫を行う。 ・体験活動やICT活用を重視する。 ・各教科等との関連を重視した教科横断的な指導を心がける。 ・言語活動の充実を図る。 ・協働的な学習を充実させるため、思考ツールを積極的に活用する。	【指導体制】 ・全校指導体制を整備し、各学年・および9年間のつながりを意識する。 ・運営委員会における校内の連絡調整と指導体制を確立する。 ・地域の教育資源（ひと、こと、もの）をデータ化し蓄積して日常的に関わりをもつ。 ・保小中高の連携・接続を意識する。 ・学校運営協議会、地域学校協働本部（もとやま学校桜援隊）と連携して取り組む。	【学習の評価】 ・ポートフォリオを活用し評価の充実を図る。 ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。 ・個人内評価、個人の伸びを重視する。 ・指導と評価の一体化を充実する。 ・授業分析による学習プロセスの評価を重視する。
--	--	--	--